

公法 出題の意図

問題 1

本問題は、平等原則についての主要判例である尊属殺規定違憲判決について、その法廷意見の内容を正確に理解していることを求め、これについて学説および現在の法律のあり方から、批判的に論評することを求めるものである。憲法の大原則である人格価値の平等について理解し、それが平等分野における法律の合憲性統制にどのように表われるかをきちんと説明できる能力が要求される。

問題 2

行政事件訴訟法上の訴訟類型および行政事件訴訟と民事訴訟との関係に関する基本的知識を、行政法の基本判例と同様の事案に対して、具体的に運用させることにより、行政法の基本的知識に対する理解度の深さを図るものである。本件改正条例は、どのような範囲の者に、どのような法的影響を及ぼすものを把握した上で、適切な訴訟手段が何かを検討することが求められる。

私法 出題の意図

問題 1

賃貸借契約の賃貸人の地位の譲渡と敷金についての基本的な知識とその理解をみる問題である。

問題 2

株式交換無効の訴えの無効原因等に関する問題である。その論述により、会社法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試されることになる。

刑法 出題の意図

中止犯の成立要件とりわけ中止の任意性に関する基本的な理解を問う問題である。

裁判例の主流はいわゆる「広義の後悔」を要求していると指摘されるが、それに関する解答者の立場が論理的に示されているかが重要となる。